

三  
メニュー

NHK  
ONE

東京 ▼

検索

サービス

設定

ニュース

新着・注目 >

社会 >

政治 >

経済 >

気象・災害 >

>



# アンカー “モバイルバッテリーなど自主回収 発火のおそれ”

2025年10月22日午後6時15分

シェアする

経済産業省

モバイルバッテリーなどを手がける中国メーカー、「アンカー」の日本法人は、発火のおそれがあるとして自社製品、52万台余りを自主回収すると発表しました。これを受けて、経済産業省は会社に対し、国内で販売した製品の点検などを求める行政指導を行いました。



発表によりますと、「アンカー・ジャパン」が自主回収するのは、2022年12月からことし10月21日までに販売したモバイルバッテリーと3種類のスピーカー、あわせて52万台余りです。

製品に搭載しているリチウムイオン電池を製造する際、一部の製品に細かい異物が混入したため、使い続けると内部でショートし、発火するおそれがあるということです。



「アンカー・ジャパン」は、「多大なるご心配とご迷惑をおかけし、深くおわび申し上げます」とコメントしています。

その上で該当の製品かどうかは、会社のホームページの受付フォームにシリアルナンバーを入力して確かめてほしいと呼びかけています。



一方、経済産業省によりますと、この会社からは、実際に製品が発火したという重大な製品事故が去年からことしにかけて41件、報告されたほか、会社が2019年以降に自主回収の対象にした製品の数、あわせて100万台を超えるということです。

これを受けて、経済産業省は会社に対し、国内で販売したリチウムイオン電池を使うすべての製品を対象に、点検などを求める行政指導を行いました。

## 注目ワード

経済産業省

## あわせて読みたい